

## 1 はじめに

本校の学校教育目標は、「心豊かに健やかで、たくましく行動できる生徒の育成」としており、今年度の組織目標として、「夢と志をもち自らの可能性に挑戦するために必要となる資質・能力を育成する」となっている。これらの背景を踏まえ、今年度は、生徒主体の特別活動に積極的に取り組んできた。その実践をいくつか紹介する。

## 2 資料

### (1) いじめ ZERO フォーラムの実施

「自分や他者の気持ちを大切にできる思いやりのある生徒の育成」に向け、本校ではいじめ ZERO フォーラムを実施した。生徒会が考えた「いじめ ZERO 宣言」をもとに、いじめについて考える動画を見たり、縦割り班でグループごとの「いじめ撲滅のメッセージ」を作成したりした。昇降口に掲示してある思いやりの木にグループで作成した葉の形をした「いじめ撲滅のメッセージ」を掲示することで、いじめを許さない気持ちを常に意識できるようにした。



いじめ撲滅メッセージを  
掲示した思いやりの木

### (2) 朝のあいさつ運動

本校では生徒会が中心となってあいさつ運動を行っている。さらにあいさつ運動を活発化するために、委員会単位で昇降口に立ち、あいさつ運動を行った。各委員会 1 回の実施ではあったが、参加した生徒たちは率先してあいさつを行っている姿が見られた。



生徒会のあいさつ運動

### (3) 学習強調週間

定期テスト 2 週間前から学習強調週間として、生徒会が作成したテスト前のカウントダウンカレンダーや先生方から頂いたテストに向けての応援メッセージや学習のアドバイスを掲示した。今までは定期テストに向けて漠然と学習を進めていた生徒も、少しずつではあるが計画的に学習する習慣がついてきた。

## 3 成果と課題

- (1) いじめ ZERO フォーラムでは、いじめに対する意識を高める効果があった。1 回の実施であったので、学期ごとに振り返る機会をもてるとより効果的であると感じた。
- (2) 朝のあいさつ運動に全校で取り組むことで、一人一人のあいさつに対する意識を高めることできた。今回は各委員会 1 回ずつの実施だったので、生徒の負担にならないように学期に 1 回程度実施グループを変えながら実施していきたい。
- (3) 学習強調週間ではテスト計画表を配付するとともに、学習計画を立てる時間を確保して、毎日チェックをすることで、計画的に学習を進めよう意識する生徒が増えてきたように思う。また校長先生と教頭先生にチェックをして頂いたことで、生徒の意欲を喚起することができた。